

T TABLE FOR TWO かわら版

第3号 2009年1月発行



ご挨拶

日頃よりTABLE FOR TWOをご支援いただきありがとうございます。今回はマラウイを視察してまいりました。給食事業を支えるお母さん達の仕事ぶりにご注目ください。
(TABLE FOR TWO事務局長・小暮 真久)

これまでに集まったご寄付(2009年1月30日現在)

646,387食

約3,000人の子どもの1年分の学校給食になります。

マラウイ便り～給食に込められたお母さんの願い～

お母さんの作った給食が、子どもの未来につながります

毎日の給食は、子どものお母さん達によって作られています。これは、村のコミュニティーと連携し、将来的には学校給食を住民独自で運営していこうという試みです。

TABLE FOR TWOなどの外部団体から、食材のトウモロコシの粉や給食室が提供されています。それらを用いて、お母さん達は火起しから調理、配膳、片付け、水汲みまですべてを交代制で行っています。ここで使用されているトウモロコシの粉は、大豆粉などを加え、栄養価を高めたものです。

遠くの川まで水汲みへ

調理中

子どもたちに取分けます

お昼の後は後片付け



お手伝いしていたお母さん達の代表の方

お母さんの一人は、「給食プログラムが始まって以降、子ども達がすく生き生きし、勉強に集中するようになった」と言います。学力が上がるとSecondary School*へ進学する道が開けます。進学し、お手本となる子どもが周りに出てくることで、勉強に対するモチベーションが高まっているそうです。教育を通じて貧困から脱出し、子ども達により良い未来を生きてもらいたいという、お母さん達の願いが実現されつつあるのです。

*Secondary Schoolは現地の高等教育機関に当たり、一定の学力をもつ子どものみ進学することができます。ここに入学できた子ども達は、表情や立ち居振る舞いが自信に満ち溢れ、その村のヒーローになるそうです。

**マラウイでは、ウガンダ、ルワンダの給食で出されているボシヨを食べる習慣がなく、代わりに同じ原料を使ってお粥を食べます。



給食はお粥**です



←栄養価を強化したトウモロコシの粉を使用します

給食あるところに、笑顔あり、より良い未来あり



こんな一コマもありました



←お母さんもほっと一息休憩中



お父さんも参加→

【マラウイ共和国 基本情報】

- 面積: 11.8万km²
- 人口: 1,392万人
- 首都: リロングウェ
- 言語: チェワ語、英語など
- 民族: チェワ族、トゥンブカ族、など
- 略歴: 1964年イギリスから独立後長らく一党体制下にあったが、1994年に複数政党制へと移行した。



？TABLE FOR TWOとは？

TABLE FOR TWOヘルシーランチを選ぶことで、参加者自身のメタボリック予防ができると同時に、開発途上国の子どもに給食をプレゼントできるという日本発の食糧・健康プログラムです。

？どこを支援しているの？

現在の支援先は東アフリカのウガンダ、ルワンダ、マラウイの3か国。今後、支援地域を拡大していく予定です。